



エピソード

絵本の中に新聞紙を丸めた棒でつくる線路を見つけて「これをしてみたい」という子がいたので、新聞紙を用意してみました。自分たちで絵本を見ながら Y 児「ここはセロテープで止めよう」T 児「ぎゅってしたらつぶれるから優しく持ってね」と、友達に思ったことや気付いたことを伝えながら一緒に作る姿がありました。

たくさん棒が出来ると、Y 児「並べて線路にしてみる」と保育室いっぱい線路になるように並べ始めました。T 児「お外にもいきそうなくらい、いっぱいあるよ」Y 児「廊下にもつなげていこう」と、どんどん線路は長くなっていきました。保育室のドアの所にいくと、Y 児「ここに段差があるから線路できない」と、困っている姿がありました。近くにいた T 児も「どうしたらいいかな」と悩んでいました。しばらく見守っていると、Y 児がウレタン積み木を持ってきて段差の所に置き、Y 児「これで、段差がなくなることができるようになった」と、線路をつなげました。反対側のドアの所にいた T 児にも Y 児がウレタン積み木を持っていき、教えてあげる姿が見られました。

保育者の思い

- ・絵本で見つけたものを「やりたい」という声があったので、素材を準備しました。作り方も自分たちで考えられたらと思い、考えている様子を見守る時間をつくるようにしました。
- ・困ったことがあった時に、自分で考えられるように声を掛けたり、思いついたこと・出来たことに共感したりして、自分で考える力を少しずつ付けてほしいと思っています。
- ・友達とやりとりしながら遊ぶ姿を見守り、必要に応じて言葉を補うなど、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきたいです。

子どもの育ちや学び

- ・絵本を見ながら作り方を考えたり、気付いたことや思ったことを友達に伝えたりしながら作る姿がみられました。
- ・新聞紙、セロテープなど身近な用具の使い方を知り、安全に使ってつくりたいものをつくっています。
- ・困ったことがあった時に、どうしようと自分で考え、納得いくまで考えられる力も付いてきました。
- ・自分ができたことを友達に優しく教える姿も見られました。

家庭だったら・・・

- ・「今日、どんなことをしたのか」「何が楽しかったのか」など、自分の言葉で話ができるように聞いてみてください。